

試験ブループリント

Nutanix認定プロフェッショナル

– ビジネス継続性

(NCP-BC) 7.5試験



目次

作成者	3
寄稿者	3
1. 試験	4
1.1 試験の目的	4
1.2 問題数	4
1.3 受験料	4
1.4 合格スコア	4
1.5 目標と試験問題の関連性	4
1.6 言語	4
1.7 制限時間	4
1.8 試験のスケジューリングおよび受験	5
1.9 認定トラック	5
1.10 再受験ポリシー	5
1.11 試験のセキュリティ	5
1.12 再認定	5
1.13 認定のメリット	6
2. 対象者	6
3. NCP-BC 7.5試験で対象となる目標	7
3.1 はじめに	7
3.2 目標	7
セクション1 - ビジネス継続性・ディザスタリカバリ (BCDR) 要件の解釈と構成をする	7
セクション2 - ビジネス継続性・ディザスタリカバリ (BCDR) ソリューションをテストする	10
セクション3 - ビジネス継続性・ディザスタリカバリ (BCDR) タスクを実行する	12
セクション4 - ビジネス継続性・ディザスタリカバリ (BCDR) 失敗のトラブルシューティングをする	14
4. NCP-BC 7.5トレーニングの推奨事項	18
4.1 コースの推奨事項	18
5. リソース	19
5.1 Nutanix Community Edition	19
5.2 テストドライブ	19
5.3 Nutanix Community	19
5.4 その他のビジネス継続性関連リソース	19

作成者

Jeff Hall マネージャー - 技術認定開発

寄稿者

Andrew Rae ITシステムエンジニアリングリード - Quantinum

Balachandran Lakshmikanthan スタッフエンジニア

Basavar Nandi シニアスタッフエスカレーションエンジニア

Daniel Vasquez チャンネルシステムエンジニア

Drew Plaster シニアクラウド&インフラストラクチャシステム管理者 - Moda Health

Frank Mazzotti シニアコンバージドインフラエンジニア - CDW

Justin McAlister 米国データセンター運用担当マネージャー - DraftKings

Jeremie Brison アドバイザリーシステムエンジニア

Josh Lewis スタッフ技術コース開発者

Julien Dumur シニアインフラストラクチャコンサルタント - Mikadolabs

Karan Sagar Vishwanath シニアシステム信頼性エンジニア

Lajapathy Madhusudhanan シニアテクニカルスタッフメンバー

Lev Goronshtein アドバイザリーシステムエンジニア

Maroane Boutayeb シニアスタッフカスタマーエクスペリエンスマネージャー

Matthew Gauch シニアスタッフエスカレーションエンジニア

Mike Dent フィールドCTO、ハイブリッドデータセンター - eGroup Enabling Technologies

Paul Monroe スタッフエスカレーションエンジニア

Rickard Wendel スタッフカスタマーエクスペリエンスマネージャー

Raj Patel プロジェクトサービス担当マネージャー - Winslow Technology

Surya Pavani Kodali テクニカルスタッフメンバー - 4

Vlad Glemب シニアスタッフコンサルティングアーキテクト

Wes Butler シニアスタッフ技術コース開発者

Will Fulmer 最高技術責任者 (CTO) - Helient Technologies

免責事項:

Nutanix認定プロフェッショナル - ビジネス継続性 (NCP-BC) 7.5試験ブループリントガイドは、NCP-BC 7認定資格を取得するために習得する必要がある目標の概要について説明します。本ガイドは、Nutanixが受験者のNCP-BC 7認定資格の取得を保証するものではありません。本ガイドの情報はすべて、Nutanixの単独の裁量により、随時変更される可能性があります。

1. 試験

1.1 試験の目的

Nutanix認定プロフェッショナル – ビジネス継続性 (NCP-BC) 7.5試験では、Nutanixポートフォリオ内における複雑なシナリオに対するディザスタリカバリソリューションの計画と、構成、実行、およびトラブルシューティングをする受験者の能力を評価します。これらのスキルと能力を習得していることを証明できます。

1.2 問題数

NCP-BC 7.5試験は、75問の選択問題（単一回答、複数回答）で構成されています。

1.3 受験料

NCP-BC 7.5試験の受験料は、200米ドルです。

1.4 合格スコア

この試験の合格スコアは3000です。スケールドスコア方式（換算方式の採点法）が用いられます。スコアのスケールは1000～6000です。スケールドスコア（換算スコア）は、試験のバージョンごとの試験問題の数と種類など、さまざまな要素を考慮した数式を使用して算出されます。

問題の数や種類は、同じ試験でもバージョンによって異なる場合があります。そのため、受けた試験のバージョンに基づいて、スケールドスコア（換算スコア）で全員に公平なスコアを提示します。

1.5 目標と試験問題の関連性

目標は、試験が何を評価することを目的としているかを要約したものです。目標は、Nutanixポートフォリオ内における複雑なシナリオに対するディザスタリカバリソリューションの計画と、構成、実行、およびトラブルシューティングの業務に関わる所定のタスクに基づいて、試験開発者と対象分野の専門家（SME）によって策定されます。

最初の策定プロセスが完了すると、これらの目標は、外部の実務担当者のグループを用いて検証されます。最終的に、各目標に対する問題数が決定されます。目標ごとの問題数は、職務のタスクの重要度に直結しています。

1.6 言語

試験は英語と日本語で行われます。

1.7 制限時間

試験の制限時間は120分です。

1.8 試験のスケジュールリングおよび受験

この試験は、リモートの試験監督官によるリモートプロクタリング方式、または所定のテストセンターで受験する対面方式で実施されます。

リモートプロクタリング方式を選択する場合、試験に申し込み、有効な身分証明書を提示すると、各自の受験場所でウェブブラウザを使用して受験する方法について案内が送付されます。試験はリモートで監督されるため、ロックダウンされ、監視された、安全な受験環境が提供されます。

対面の試験を選択する場合、お近くのテストセンターを選択できます。試験当日は、政府機関発行の有効なIDを持参し、試験開始時間の15分前までにテストセンターにお越しください。

1.9 認定トラック

NCP-BC 7.5試験は、Nutanixビジネス継続性トラックのコアコンポーネントです。この試験に合格すると、NCP-BC 7の認定資格を取得することになります。

認定資格を取得するには、試験で合格スコアに達する必要があります。コースの受講は必須ではありませんが、Nutanixは、試験の目標を網羅するトレーニングを実施しています。推奨されるトレーニングコースの詳細は、[セクション4](#)をご覧ください。

1.10 再受験ポリシー

初回の受験で不合格となった場合、2回再受験できます。再受験まで7日間の待機期間が設けられています。初回の受験と同様に、試験ごとに受験料のお支払いが必要になります。再受験まで十分に準備の時間を確保し、最も合格を狙える状態で受験することをお勧めします。

注：3回受験すると、60日間受験できなくなります。その後、university@nutanix.com宛てにメールで連絡し、受験回数のリセットを要請することができます。この間に、本ガイドと関連資料を十分に確認したり、推奨されるトレーニングを受講したりすることをお勧めします。

1.11 試験のセキュリティ

Nutanixは、試験のセキュリティポリシーに違反する受験者の認定を拒否する権利を留保します。試験教材を複製および再配布する、試験中に各種教材を使用する、試験問題を撮影しようと試みる、虚偽の身分証明書を使用して受験するといった行為が違反に該当します。受験者の身分証明書は、試験申し込みプロセスの一環として記録され、有効性が確認されなければ、受験は認められません。

1.12 再認定

Nutanix認定プロフェッショナル - ビジネス継続性7.5試験に合格し、NCP-BC 7認定資格を取得すると、資格は3年間有効です。

認定のステータスを維持するには、既存の認定を更新するか、別の認定トラック内で同等のNCPレベルの試験に合格する、またはNCM-MCI試験に合格する必要があります。

1.13 認定のメリット

- ソーシャルメディアで共有可能なCredlyのデジタルバッジ
- シャツやマグカップなどを購入可能なNutanixストア (<http://store.nutanix.com>) のCertificationショップへのアクセス
- 将来の試験の開発にSMEとして参加する機会
- Nutanix .NEXTの参加割引

2. 対象者

NCP-BC 7.5試験およびNCP-BC 7認定資格は、ITインフラストラクチャ全般に関する約2～3年の経験と、Nutanix環境での1～2年の経験、および6～12カ月のNutanix DR（ディザスタリカバリ）の経験がある方を受験対象者として想定しています。

システム管理者や、バックアップ管理者、アーキテクトなど、ビジネス継続性・ディザスタリカバリ（BCDR）ソリューションを使用している方々が一般的な合格者となっています。また、プラットフォームエンジニアや、データベース管理者、および/またはネットワークエンジニア/管理者も含まれます。

Nutanixビジネス継続性管理（NBCA）コースなどのトレーニングコースを受講すれば、合格できる可能性は高くなります。

3. NCP-BC 7.5試験で対象となる目標

3.1 はじめに

受験者は、NCP-BC 7.5試験を受ける前に、Nutanixポートフォリオ内における複雑なシナリオに対するディザスタリカバリソリューションの計画と、構成、実行、およびトラブルシューティングを行うために必要な知識とスキルを身につけておくことが推奨されます。また、受験前に、[セクション4](#)に記載されているトレーニングコースを完了することも推奨されます。

NCP-BC 7.5の認定資格では、受験者は以下のソフトウェアバージョンでテストを受けます。

- Nutanix Disaster Recovery : バージョンpc. 7.5
- Prism Central : バージョンpc. 7.5

3.2 目標

受験に先立って、受験者は以下の各目標を理解しておかなければなりません。各目標、受験者が使用経験を積んでおくべき関連ツール、目標と関連のある情報が記載された参考文書が以下に挙げられています。なお、一部の文書には、サポートポータルからアクセスする必要があります。サポートポータルで使用するアカウントの作成については、[こちら](#)をご覧ください。

目標はすべて、以下に挙げられていない他の製品文書でも言及されている場合があります。受験者は、関連するすべての製品文書を十分に把握しておくか、同等のスキルを身につけておく必要があります。

セクション1 - ビジネス継続性・ディザスタリカバリ (BCDR) 要件の解釈と構成をする

目標1.1 : BCDRスケジュール構成の前提条件を判断する

知識

- RPOをDR構成に関連付ける
 - シナリオを踏まえて、ニーズを満たすためにasync、nearsync、syncrep、metroを選択する
- リソース要件をDR構成に関連付ける
 - CVM CPU、CVMメモリ、SSDサイズ、ノードストレージ
- システムの最大構成をDR構成に関連付ける
 - カテゴリごとのVM数、保護ポリシーごとのVM数
- レプリケーション要件を判断する
- アプリケーション整合性スナップショットの使用と前提条件を判断する
- 独立WitnessサービスVMを決定する

参考資料

- [保護ポリシーの作成](#)
- [非同期レプリケーションのための要件](#)
- [同期レプリケーションのための要件](#)
- [Nearsyncレプリケーションスケジュールの構成](#)
- [非同期 \(Nearsync、1時間から6時間未満\)](#)
- [同期レプリケーション \(RPO 0秒\)](#)
- [オンプレミスAZ間のDR構成に関する推奨事項](#)

目標1.2 : BCDRソリューションのハードニングをする

知識

- [DR構成にセキュリティ要件を実装する](#)
- [DR用のネットワークセグメンテーションを構成する](#)
- [DRスナップショット用の承認ポリシーをセットアップする](#)

参考資料

- [ディザスタリカバリオペレーションのためのロールベースアクセス制御 \(RBAC\)](#)
- [Flowネットワークセキュリティポリシーの同期の有効化](#)
- [ネットワークのセグメンテーション](#)
- [DRネットワークセグメンテーションのベストプラクティスと推奨事項](#)
- [承認ポリシーを使用したセキュアなスナップショット](#)
- [DRスナップショット用の承認ポリシーの構成](#)
- [承認ポリシーの更新](#)
- [承認リクエストの承認または拒否](#)

目標1.3 : BCDR要件を踏まえて復旧プランを構成する

知識

- 復旧プランのためのネットワークマッピングを判断する
- 構成パラメータの遵守を確実にする
 - Scale-Out PC、Async、Nearsync、Synchronous
 - Scale-Out、単一PC、大規模/小規模
- アフィニティ/アンチアフィニティポリシーを構成する
 - VM-ホスト、VM-VM

参考資料

- [復旧プランの作成](#)
- [復旧プランのネットワークング](#)
- [Nearsyncレプリケーション \(RPO 1分から15分\)](#)
- [ペアリングされたアベイラビリティゾーン間のエンティティ同期](#)
- [フェイルオーバーオペレーションの管理](#)
- [アフィニティポリシーの処理 : PCベースのDRソリューション](#)
- [PDベースのディザスタリカバリソリューションのためのVM-VMアンチアフィニティポリシーの管理](#)

目標1.4 : BCDR要件を構成する

知識

- サポートされているDR構成を認識する
 - MST DR
- クラウドプロバイダーに基づいたNC2におけるネットワークングの前提条件を認識する
 - レイヤー2サブネットストレッチ

参考資料

- [ゼロコンピュートデプロイメントでのMST DR](#)
- [パイロットライトデプロイメントでのMST DR](#)
- [MST DRの制限事項](#)

- [オンプレミスAZとNutanix Cloud AZ間におけるDR構成の要件](#)
- [レイヤー2ストレッチ接続](#)

目標1.5 : BCDR要件を踏まえてネットワークとストレージを構成する

知識

- DR構成のためのネットワーク要件を判断する
- リモートサイトにおけるストレージのニーズを特定する
 - リモートサイトにおける占有使用量を計算する
- 正しいスナップショット配置を確実にするためのコンテナを構成する
- ビジネス要件に基づいた最適なDRストレージアプローチを判断する
 - MST
 - パイロットライト
 - ベアメタル

参考資料

- [ディザスタリカバリのための仮想ネットワークの仕様](#)
- [マルチサイト構成の条件と制限事項](#)
- [オンプレミスAZ間のDR構成に関する推奨事項](#)
- [オンプレミスAZとNutanix Cloud AZ間におけるDR構成の制限事項 \(DRaaS\)](#)
- [マルチクラウドスナップショットテクノロジー \(MST\) を使用したDR](#)
- [MSTの前提条件とセットアップ](#)
- [MST DRのスケール要件](#)

セクション2 - ビジネス継続性・ディザスタリカバリ (BCDR) ソリューションをテストする

目標2.1 : DRフェイルオーバーをテストする

知識

- シナリオを踏まえて、Async/NearSync/Syncの計画されているフェイルオーバーを実行するタイミングを判断する
 - フェイルバックを実行する

- シナリオを踏まえて、Async/NearSync/Syncのテストとして計画されていないフェイルオーバーを実行するタイミングと方法を判断する
 - フェイルバックを実行する
- シナリオを踏まえて、実行中のワークロードに影響を与えることなくテストフェイルオーバーを実行するタイミングと方法を判断する
- 復旧プランをバリデーションする
 - 復旧プランのバリデーション中にチェックされるポイントを認識する

参考資料

- [テストフェイルオーバー](#)
- [テストフェイルオーバーの実行](#)
- [計画されていないフェイルオーバー](#)
- [計画されたフェイルオーバー](#)
- [計画されたフェイルオーバーの実行](#)
- [ディザスタリカバリのための仮想ネットワークの仕様](#)
- [Recovery Plans（復旧プラン）ビュー](#)

目標2.2：サイト間のスループットと接続性をテストする

知識

- 一貫した接続の安定性を確保するために使用できるログを特定する
- 2つのサイト間で開いたままにしておく必要があるポートを特定する
- PDベースのDRで帯域幅スロットリングを構成する場所を認識する
- サイト間の接続性を判断するために使用できるネイティブツールを特定する

参考資料

- [VPN接続の詳細の表示](#)
- [DRサービスの到達可能性チェックの実施](#)
- [アベイラビリティゾーンのペアリング失敗のトラブルシューティング](#)
- [VPNの構成（オンプレミスおよびNutanix Cloudのアベイラビリティゾーン）](#)
- [ディザスタリカバリのために開いたままにしておく必要があるポート](#)
- [保護ドメインのために開いたままにしておく必要があるポート](#)

- [Metro Availability Witnessオプション](#)
- [Cerebroリーダー変更中のVIP0の不安定/利用不可によるMetroの停止](#)

セクション3 - ビジネス継続性・ディザスタリカバリ (BCDR) タスクを実行する

目標3.1: セルフサービスリストア (SSR) を実行する

知識

- [セルフサービスリストアの要件を特定する](#)
- [異なる環境でSSRを実行するためのプロセスを特定する](#)
 - [Windows](#)
 - [Linux](#)

参考資料

- [Nutanix Disaster Recovery - セルフサービスリストアの要件](#)
- [Prism Element - セルフサービスリストアの要件と制限事項](#)
- [セルフサービスデータリストアの有効化](#)
- [Windows VMのセルフサービスリストア](#)
- [Linux仮想マシンのセルフサービスリストア](#)

目標3.2: 復旧ポイントまたはスナップショットから復元する

知識

- [復旧ポイントからクローンを作成するタイミングを判断する](#)
- [スナップショットにリバートするタイミングを認識する](#)
- [PDベースのDRにおいてスナップショットから単一VMを復元する](#)

参考資料

- [保護対象エンティティの復元](#)
- [保護ドメインからエンティティを復元する](#)
- [エンティティの手動復旧](#)

- エンティティの手動復旧 - リバート
- ディザスタリカバリエンティティの手動復旧
- vGPU対応ゲストVMのディザスタリカバリの仕様
- SR-IOV VMのディザスタリカバリ動作

目標3.3：サービス停止シナリオを踏まえて復旧プランを実行する

知識

- シナリオを踏まえて、PDの「マイグレーション」タスクを実行するタイミングを判断する
 - マイグレーションタスクが実行されたときに生成されるタスクを認識する
- シナリオを踏まえて、PDの「有効化」タスクを実行するタイミングを判断する
 - PDの有効化タスクを実行したときに生成されるタスクを認識する
- シナリオを踏まえて、実行すべき復旧プランのオプションを判断する
 - 計画されていないもの、計画されたもの

参考資料

- フェイルオーバーの実行
- フェイルバックの実行
- 計画されていないフェイルオーバー
- 計画されていないフェイルオーバーの実行
- ネットワーク障害の対処
- ディザスタリカバリのための仮想ネットワークの仕様
- 継続的バックアップからのPrism Centralの復旧
- 同期レプリケーションの一時停止

目標3.4：フェイルオーバー後のクリーンアップを実行する

知識

- クリーンアップを実行するタイミングを判断する
- クリーンアップを実行するプロセスを認識する
 - 削除対象や必要な構成変更など

参考資料

- [テストエンティティのクリーンアップ](#)
- [Recovery Plans（復旧プラン）ビュー](#)
- [オンプレミスAZとNutanix Cloud AZ間におけるディザスタリカバリ（DRaaS）](#)
- [オンプレミスAZ間のDR構成の要件](#)
- [マルチパスの制限事項](#)

目標3.5：レガシードメインから保護ポリシーへマイグレーションする

知識

- [レガシーPDから保護ポリシーへマイグレーションするのが適切であるタイミングを判断する](#)
- [レガシーPDから保護ポリシーへマイグレーションする方法を判断する](#)
 - [注意事項、制限事項、計画](#)

参考資料

- [保護ドメインベースからPrism Centralベースのディザスタリカバリデプロイメントへの移行](#)
- [Nutanix Disaster Recovery - 保護ドメインからカテゴリへのVMの移動](#)
- [オンプレミスAZとNutanix Cloud AZ間におけるディザスタリカバリ（DRaaS）](#)

セクション4 - ビジネス継続性・ディザスタリカバリ（BCDR）失敗のトラブルシューティングをする

目標4.1：DR失敗の原因となるネットワーク問題をトラブルシューティングする

知識

- [レプリケーション帯域幅の問題をトラブルシューティングする](#)
- [フェイルオーバー後のVM接続の問題をトラブルシューティングする](#)
 - [ネットワークマッピング、未保持IP、未インストールNGTなど](#)
- [ネットワーク固有のアラートを踏まえて、失敗の原因を判断する](#)

参考資料

- [回復手順（Witness VMがインストールされている場合）](#)
- [復旧プランの作成](#)

- テストフェイルオーバーの実行
- ネットワークのセグメンテーション
- ディザスタリカバリのネットワークポートマッピング
- 復旧プラン - ネットワークバリデーションエラー
- オンプレミスAZとNutanix Cloud AZ間におけるDR構成の要件
- オンプレミスAZとNC2 AZ間におけるDR構成の要件
- 管理対象ネットワークを使用している際に復旧プランがIPを予約できない場合のトラブルシューティング
- 「Skipped Replication of Snapshot for <Protection Domain Name>」というアラートのトラブルシューティング

目標4.2 : レプリケーション失敗の理由を診断する

知識

- ネットワーク問題に起因するレプリケーション失敗をトラブルシューティングする
- ストレージ問題に起因するレプリケーション失敗をトラブルシューティングする
- 権限問題に起因するレプリケーション失敗をトラブルシューティングする

参考資料

- 非同期レプリケーションのための要件
- 同期レプリケーションのための要件
- 保護ポリシーの作成
- DRネットワークセグメンテーションのベストプラクティスと推奨事項
- ストレージコンテナの作成
- Nearsyncレプリケーションの制限事項
- 同期レプリケーションの一時停止
- コンテナをRF2からRF3にアップグレードするための容量要件
- マルチサイトデプロイメントのための追加の復旧場所の構成
- ノード使用状況と健全性統計
- 非同期レプリケーションのサイジング

目標4.3 : サードパーティ製バックアップの失敗をトラブルシューティングする

知識

- サードパーティのユーザー権限に関する問題を特定する
- サードパーティのアプリケーション整合性スナップショットが失敗する原因となる構成上の問題をトラブルシューティングする
 - NGT未インストール、リンクがfalse、ネットワーク問題など
- ストレージ肥大化の原因をトラブルシューティングする
 - VMが削除された、有効期限が遠い未来に設定されているなど

参考資料

- [オンプレミスAZとNutanix Cloud AZ間におけるディザスタリカバリ \(DRaaS\)](#)
- [アプリケーション整合性のある復旧ポイントの条件と制限事項](#)
- [保護ポリシーへのエンティティの個別追加](#)
- [サードパーティベンダーでvTPM対応VMをバックアップできないこと](#)
- [サードパーティ製バックアップが「Cannot complete process 'iscsiadm -mode discovery -type sendtargets -portal x.x.x.x' within timeout」というエラーで失敗すること](#)

目標4.4 : DRのセットアップ問題をトラブルシューティングする

知識

- スケジュールの構成ミスをトラブルシューティングする
- ネットワークのセットアップをトラブルシューティングする
 - ファイアウォールの問題、接続性、スループットなど
- 構成が誤っているユーザー/ロールを診断する

参考資料

- [復旧プランの作成](#)
- [復旧プランへのステージの追加](#)
- [Nearsyncレプリケーション \(RPO 1分から15分\)](#)
- [非同期レプリケーションの制限事項](#)
- [クロスクラスタライブマイグレーションの制限事項](#)
- [Nutanix Metro AvailabilityのためのvSphere Metro Storage Cluster](#)
- [オンプレミスAZ間のDR構成に関する推奨事項](#)

-
- Prism Centralインスタンス内でホストされるWitnessサービス
 - ボリュームグループ用のディザスタリカバリの仕様
 - NCC健全性チェック : backup_schedule_check

4. NCP-BC 7.5 トレーニングの推奨事項

4.1 コースの推奨事項

Nutanixは、試験でテストされる目標に関するトレーニングを実施するコースを提供しています。配信方法、価格など、本コースの詳細は、nutanix.com/trainingをご覧ください。

デジタル脅威がますます不安定化する状況に組織が直面する中、ビジネス継続性（BC）とディザスタリカバリ（DR）の専門知識に対する需要が急増しています。

いくつかの研究では、大企業におけるITダウンタイムの平均コストは、収益の喪失と復旧のコストを合わせて1分あたり9,000ドル（1時間あたり約540,000ドル）に上昇していることが示されています。計画されていなかったサービス停止を60秒未満で解決できた組織はわずか2%です。また、業務を再開するまでに1営業日以上を失ったと報告した組織は10%にのぼりました。こういったリスクがあるにもかかわらず、44%の企業は依然として正式なディザスタリカバリプランを策定せずに事業を続けています。

バックアップおよびディザスタリカバリに関する業務は、単なる技術的な役割を超えた、価値を守るためのミッションです。データは現代の企業にとっては生命線であり、1時間のダウンタイムでさえ、収益の喪失や評判の失墜によって数百万ドルの損害を組織にもたらす可能性があります。BCやDRの専門知識は、最悪のシナリオにおいても企業がレジリエンスを維持し、事業を継続することを可能にします。

Nutanixビジネス継続性管理（NBCA） コースでは、Nutanix BCDRで成功を収めるための準備を支援するために、次のような作業に必要なスキルと知識を習得できます：

- BCDRの要件と機能を分析する
- スナップショットおよび復旧ポイント戦略を実装する
- 高度なディザスタリカバリをオーケストレーションする
- ハイブリッドおよびマルチクラウドの復旧をデプロイする
- BCDR環境を維持およびトラブルシューティングをする

本コースは、オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニングを受講できます。スケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、www.nutanix.com/universityをご覧ください。

このコースで提供される内容は、NCP-BC 7.5試験に出題される目標の大部分（約80%）をカバーしており、これらの目標をしっかりと理解したい場合に推奨されます。Nutanix環境に更に触れておくことが強く推奨されていることにご注意ください。

5. リソース

5.1 Nutanix Community Edition

Nutanix Community Editionは、Nutanixクラウドプラットフォームをデプロイできる無料の製品です。試験の準備をするために、ソフトウェアをダウンロードし、ご自身の環境を構築するには、[こちら](#)をクリックしてください。

5.2 テストドライブ

[こちら](#)をクリックして、Nutanix Community Editionを活用するハイパーコンバージドテストドライブを2時間使用することもできます。

5.3 Nutanix Community

Nutanix Communityで世界中のクラウドビルダーとつながり、業界のITプロフェッショナルから学んで、経験を共有しましょう。Nutanix Communityに、Nutanix認定資格専用のページがあります。[こちら](#)からアクセスできます。

5.4 その他のビジネス継続性関連リソース

その他のビジネス継続性に関する豊富なリソースは[こちら](#)からご覧いただけます。

NUTANIX

+1 (855) 688-2649 | certification@nutanix.com | www.nutanix.com

©2026 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix、Nutanixのロゴ、および本書に記載されているすべての製品名とサービス名は、米国およびその他の国におけるNutanix, Inc. の登録商標または商標です。

本書で言及されているその他すべてのブランド名は、識別のみを目的としており、各所有者の商標である可能性があります。